

全日本合唱コンクール 音源審査による救済 埼玉県大会 2022年度限りの特例

今年5月に発表された全日本合唱連盟の特例規定を受け、第65回埼玉県合唱コンクールでは、コロナ禍の影響で当日出演できなくなった場合の救済措置として事前に収録した録音による審査を行うとしています。これは他県でも同様の処置がとられていることと思われます。この特例措置は2021年度と同様のものです。

8月5日埼玉県合唱連盟の公表内容によれば、申し込み後に、下記の理由により会場で演奏ができない場合にのみ、事前収録音源による審査を受けることができます。

- ①所属団体あるいは行政から参加を取り止めるよう指示・勧告等を受けた場合、
- ②直前に感染者が発生し、出場が困難になった場合

音源参加の手順：音源審査を希望する理由を含め、事務局へ書面、もしくはメールで申し出る⇒大会参加日直前の水曜日までに録音音源のデータ(WAVデータ推奨)を事務局へ送付する

- ・収録日、収録会場、演奏人数を記載する
- ・音源の編集は不可：課題曲や自由曲が複数ある場合は通しで録音すること。部分をつなぐ、多重録音する、ピッチ修正などの編集をしてはならない
- ・音源は出演順に、会場の拡声装置により再生する
- ・審査員は客席の審査席で再生音を聴いて審査する
※直前に感染者発生などで上記期限に間に合わない場合は、別途個別に対応可能

大会時のマスクの着用および演奏者間の距離

全日本合唱連盟のガイドラインでは、「マスクを着用せず」に歌う場合は、十分に換気ができる会場で、**前後直線上に2m程度・左右1m程度の距離を確保**すること、また、**距離の確保ができない場合はマスクを着用**することと規定しています。

コンクールにおいては、ガイドラインに加え、開催地の感染状況や指標、ホールの指針などを基に、各府県連・支部がそれぞれ判断して運営方針を出すため、県大会と支部大会でマスク着用等の方針が違ふことがあります。

マスク有無に関わらず音楽表現を審査

全日本合唱連盟では、全国大会では、マスク着用の有無に関わらず、音楽表現によって評価するよう審査員に周知してお

り、府県大会・支部大会においても同様に、マスク着用の有無に関わらず、音楽表現を評価するよう要望しています。

Amazonオンデマンド 8月16日出版 単行本 『おんがく広場』はこうして生まれた

この『おんがく広場』を紹介する単行本が出版予定となりました。まだ発売前ですので、Amazonでは「一時的に在庫切れ」表示となっていますが、準備出来次第注文ができるようになります。

多くの音楽合唱関係者の方々のご協力で続けている『おんがく広場』を整理して一冊の本にまとめました。署名記事はできるだけ紹介しました。Amazonの書籍紹介欄をご覧くださいありがとうございます。

A4サイズでカラー印刷にしたので、価格はやや高め税込み2475円になってしまいました。



Amazonオンデマンド出版：『おんがく広場』はこうして生まれた | 加藤良一 | 本 | 通販 | Amazon

この本は、『おんがく広場』を項目別に整理しまとめたものです。『おんがく広場』は、コロナ禍によるフリーランス音楽家の悲痛な声を多くの音楽愛好家に届け、異常事態における悩みを共有するために生まれました。作曲家、指揮者、ピアニストはじめ器楽演奏者、オペラ歌手、合唱団員など音楽関係者延べ70人以上の方々から原稿をお寄せ下さいました。

また、原稿は頂かなくとも、facebookやメールで情報交換するなかで頂いた情報を整理し記事としてきました。本来は原稿料についても、お支払いしなければならないところですが、こちらはボランティアでやっているため、無償でお願いしなければならず、心苦しいかぎりです。

多くの方々から頂いた貴重な情報(記事)をカテゴリーに分け、コロナ禍の記録として掲載当時の声のまま一冊の本として再現しました。

これは、編集者として貴重な原稿に対する責任でもあると思います。皆様のご協力に心より感謝いたします。